Requested Patent:

JP61010348A

Title:

PROTOCOL CONVERSION SYSTEM;

Abstracted Patent:

JP61010348;

Publication Date:

1986-01-17;

Inventor(s):

INOUE SATOSHI;

Applicant(s):

NIPPON DENKI KK;

Application Number:

JP19840131644 19840625;

Priority Number(s):

IPC Classification:

H04L13/00;

Equivalents:

ABSTRACT:

PURPOSE: To transmit data of a terminal device with high priority with less waiting by forming reception data from a terminal device into a packet and transmitting the result to a high-order device depending on the priority of various terminal equipments in a protocol converter.

CONSTITUTION: There are a synchronous terminal device SYN with high priority and a terminal equipment FAXGIII with low priority in the terminal devices and the protocol converter PAD transmits the data of the terminal device SYN and the terminal device FAXGIII to a host device. The converter PAD detects the transmission request by a detector DET and knows the priority 15 by an information storage section STR having the priority information corresponding to the terminal dvice. The detector DET registers packet forming data 16 with high priority to a memory HQ and that with low priority to a memory LQ. The registered packet forming data is scanned whether it is registered in the memories HQ, LQ by the transmission control section SND and transmitted to the host device from the data with high priority.

⑲ 日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

⑩公開特許公報(A) 昭61-10348

(s)Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)1月17日

H 04 L 13/00

D - 7240 - 5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

図発明の名称 プロトコル変換方式

②特 願 昭59-131644

聰

20出 願昭59(1984)6月25日

砂発 明 者 井 上

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑪出 顧 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

砂代 理 人 并理士 熊谷 雄太郎

1 発明の名称

プロトコル変換方式

2 特許請求の範囲

各種端末からのデータを受信し、上位にパケット単位で送信するプロトコル変換装置において、 端末から受信したデータをパケット単位に編集するとともに、前記端末に対応の優先順位に基づい て上位に送信することを特徴としたプロトコル変 換方式。

3 発明の詳細な説明

発明の属する技術分野

本発明は、パケット交換に関し、特に、プロトコル変換に関する。

従来技術の説明

従来、この種の装置は、各種増末からの送信要 求に基づいてデータを受信し、受信順序に基づい てパケット化して上位に送信していた。そのため に、優先順位の高い端末のデータであつても、優 先順位の低い端末の送信要求が早ければ、先にパ ケット化されて上位に送信され、送信完了するまで符合わせること、更に、データ長が長ければ長い程それだけ長く符合わせるといり欠点を有していた。

発明の目的

本発明は従来の上記事情に鑑みてなされたものであり、従つて本発明の目的は、各種端末の優先順位に従つて端末からの受信データをパケット化し上位に送信することにより上記欠点を解決し、優先順位の高い端末のデータを待合せを少なく送信できるようにした新規なブロトコル変換も似を提供することにある。

発明の構成

上記目的を達成する為に、本発明に係るプロトコル変換方式は、プロトコル変換装値において、各種端末からの送信要求に基づき、端末対応の優先順位を判断した後に受信データをパケット化し、優先順位に応じて送信するように構成される。

発明の実施例の説明

次に本発明をその好ましい一実施例について凶

面を参照しながら具体的に説明する。

第1回は本発明の一実施例を示すシステム 成 図、第2回は第1回の時間的な経過を示すタイミ ングチャート、第3回は第1回の PAD 部分につい ての具体的実施例を示す回である。第1回にかい て、端末が優先順位の高い同期端末 8Y8 と低い端 末 PAX GIの2種類あり、各々プロトコル変換装置 PAD に端末 8YN は回線2を、端末 PAX GIは回線1 を経由して接続されプロトコル変換装置 PAD は上 位に対して回線3を通してデータを送信する。

第2図にかいて、そのタイミングにつき板要を 説明する。端末 PAI GII は時期 to にて送信要求を行い、プロトコル変換接置 PAD に対して連続したデータを時期 to まで送信する。端末 BYH は端末 FAI GII が送信中の時期 to に送信要求を行い、プロトコル変換接置 PAD は端末からのデール変換接置 PAD は端末からのデータを受信しながらパケット化するとともに、優先 順位の高い始末を触別し、パケット化データの ち優先順位の高いものから上位に送信する。図で いえば、時刻to~to+1 は簡単にペケット化されたデータを示し、時刻to′は増末 PAX GIIの送 受求時刻toより少し遅れたととを示し、上位にデータを時刻t₁′ まで送信する。 対t₁′ にかいては優先版位の高い端末 BIN のペケット化されたデータがあるために優先して時刻t₄′ まで増末 BIN データを上位に送信する。時刻t₄′ にかいては増末 PAX GIIのペケット化されたデータのみであるために、時刻ta′ まで上位に送信する。

第3回はブロトコル変換装置PADの構成内容を 具体的に配述したものである。 婚末からの送信要 求が回録4から発生したことを検出器 DRT で検出 すると、 端末対応の優先駆位情報をもつ情報蓄積 部 BTR により優先版位15を知る。 検出器 DRT はパケット化データ16を優先版位の高いものはトリガー 6 によつて8 を経由してメモリHQに登録し、 低いものはトリガーでによつてトリガーでを辞由してメモリHQに登録し、 低いよモリIQに登録する。

後先順位ととに登録されたパケット化データは 送信制御部 BHD によつて、まずメモリRQに登録さ

れているか否かをスキャン9し、登録されていれば、送信トリガー12によつてメモリEQのパケット化データ17を上位送信14する。もし、登録されていなければメモリIQに登録されているか否かをスキャン11し、登録されていれば送信トリガー13によつてメモリIQのパケット化データ18を上位に送信14する。

発明の効果

本発明は、以上説明したよりに、プロトコル変 接装置にて各種増末の優先順位により、パケット 化データのメモリQ登録をかえ優先順位の高いメ モリQに登録されたデータから上位に送信するこ とによつて、優先順位の高い増末のデータの符合 せを少なくする効果がある。

4 図面の簡単な説明

第1回は本発明による一実施例のシステム 成図、解2回は本発明の動作を説明する為の時間的経過の一例を示すタイミングチャート、第3回は本発明における主要部の一実施例の詳細図である。
1 ··· PAX GE用回線、2 ··· BYN 用回線、4 ··· 始末

との回線、5…IQへのトリガー、6…HQへのトリガー、7…IQへのパケット化データ、8…HQへのパケット化データ、8…HQへのパケット化データ、9…HQのスキャン、11…IQへのスキャン、12…HQの送信トリガー、13…IQの送信トリガ、14…上位への送信データ、15…優先順位、16…パケット化データ、17…HQのパケット化データ、18…IQのパケット化データ、PAD…プロトコル変換装置、8YN、FAX OII…端末、8TR…情報蓄積部、DBT…検出器、8ND…送信制御部、HQ、IQ…メモリ、to… FAX GIIの送信要求及びデータ送信開始、t1…8YNの送信要求及びデータ送信期が、t4…8YNのデータ送信終了、t5… FAX OIIのデータ送信終了、t0′~t4′…t0~t4 より上位送信まての遅延、t4′~t8′…t1~t5 より上位送信まての遅延、t4′~t8′…t1~t5 より上位送信まての遅延

特許出版人 日本電気株式会社

代 璱 人 弁理士 賴 谷 雄太郎

